

加曾利貝塚博物館特別研究講座

「考古学研究の最前線」

—パラダイムシフト

縄文時代をどう捉えるか—

会 場:千葉市生涯学習センター

日 時:令和2年7月25日(土) 10:00~16:10

日 程

10:10~11:10 「堀之内1式土器の個体別系統分析について」
加納 実(千葉市立加曾利貝塚博物館 館長)

11:20~12:30 「瀬戸内地域における押型文土器及び無文土器について」
吉野真如氏(千葉県教育庁教育振興部文化財課指定文化財班)

13:30~14:40 「佐藤達夫の異系統土器論—その学史的意義と民族誌的検証—」
田村隆氏(元千葉県立中央博物館主席研究員)

14:50~16:00 「気候変動と縄文世界の変化」
安斎正人氏(元東北芸術工科大学東北文化研究センター教授)

定員:研究者30名(研究機関等に在籍、または在籍されていた方)
一般13名
応募多数の場合は抽選

申し込み方法:

○加曾利貝塚博物館HPから電子申請 <https://www.city.chiba.jp/kasori/>
○Eメールによる申請 kasori.jomon@city.chiba.lg.jp

記載事項:講座名・住所・氏名(1申請につき1名)・研究者の方は(研究機関名)

理論考古学の旗手安斎正人、先史考古学研究の第一人者田村隆を講師に迎え、縄文土器の研究者吉野真如と本館館長とを加え、パラダイムシフト（枠組みの転換）を主題に、新たな研究法を模索する場を設けました。

旧石器時代・縄文時代研究者に限ることなく、広く日本考古学を学ぶ方々や興味をお持ちの方々の参加をお待ちしております。とりわけ千葉市民の方々には、日本考古学研究の最先端に触れることができる数少ない機会になろうかと思います。是非ともご参加いただきたいと思います。

講師略歴

安斎正人氏

1945年生 東京大学大学院人文科学研究科博士課程退学
元東北芸術工科大学東北文化研究センター教授

田村 隆氏

1950年生 東京大学卒
元千葉県立中央博物館主席研究員

吉野真如氏

1976年生 東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化専攻考古学専修 修士課程修了
千葉県教育庁教育振興部文化財課指定文化財班

加納 実

1962年生 千葉市立加曽利貝塚博物館 館長

会場案内図



問合せ先

千葉市立加曽利貝塚博物館
〒264-0028 千葉市若葉区桜木8-33-1
電話番号 043-231-0129
ファックス 043-231-4986
メール kasori.jomon@city.chiba.lg.jp

※今後の状況に応じて当講座を急遽中止にする場合、加曽利貝塚博物館HPでお知らせいたしますので、ご了承くださいますようよろしくお願ひいたします。

加曽利貝塚博物館HP <https://www.city.chiba.jp/kasori/>